

【草の根無償資金協力によるレントゲン機材の供与】

12月7日、フルンゲ郡のチダモヨ・クリスチャン病院において、平成29年度無償資金協力による富士フィル社製のレントゲン機材の引き渡し式が行われ、日本政府を代表して岩藤大使が出席しました。同式典には、ジンバブエ政府を代表してマンガウィロ保健・育児副大臣、カシリ下院議員の他、政府関係者、病院関係者及び地域住民等約500名が参加しました。

同病院では、日本製の質の高いレントゲン機材が供与されたことで、これまでの現像式のレントゲンから大幅なコスト低下と解像能力の向上、更には同社による充実したアフターケアにより、長期にわたり地域住民に対する医療サービスが大幅に向上することが期待されています。

スピーチにおいて岩藤大使は、このレントゲン機材の供与により質が高くより安価な診察が可能となり、より多くの地域住民の健康向上に資することを期待する旨、また、マンガウィロ副大臣は、日本の支援に感謝の意を示しつつ、不足している医師や看護師、レントゲン技術の向上についてその推進を約束する旨述べました。



岩藤大使の挨拶



式典会場①



歓迎の踊り



式典会場②



マンガウィロ保健・育児副大臣の挨拶



カシリ議員



除幕式



X線機材